

TEIJIN PHARMA

帝人ファーマ
会 社 案 内

帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館
<https://www.teijin-pharma.co.jp/>

◆本誌内に記載されている商品の名称、サービス名称等は帝人ファーマの商標もしくは登録商標です。
またその他の商品の名称、サービス名称等は各社の商標もしくは登録商標です。
©2023 帝人ファーマ株式会社 All Rights Reserved.



ケアサイクルに一貫して貢献できる トータルソリューションを提供し、 Quality of Lifeの向上を実現します。

帝人ファーマは「骨・関節」「リハビリ・脳神経」「呼吸器」「代謝・循環器」を重点領域として患者さんに寄り添ってきました。社会の変革にも柔軟に対応し、いくつになっても健やかに自分らしく生きられる未来の実現に向けて歩みを進めています。企業理念「Quality of Lifeの向上」を原点に、トータルヘルスケアで未来の社会を支える会社へと進化し続けます。



帝人グループは、2011年3月より「国連グローバル・コンパクト※」に参加。帝人ファーマでは、とくに目標3の実現に取り組んでいます。

※持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2025年以降、団塊の世代が75歳を超え、医療・介護のあり方が激変すると予想されます。世界でもまれな超高齢社会に向けて、私たちは予防・健康増進から、治療、リハビリ／介護、その後の生活まで支援する、他に類のない総合ヘルスケア企業へと舵を切っています。めざすのは「支えを必要とする患者さん、ご家族、地域社会の課題を解決する会社」です。グローバルで通用する創薬基盤を深化させながら、地域に密着するため全国に支店・営業所を構えるだけでなく、コールセンター／コンタクトセンター、訪問看護ステーション、「バイタルリンク®」などの各種プラットフォームも展開しています。皆さまの困りごとに直接耳を傾け、医薬品、在宅医療、ICTの枠を越えて、一人ひとりのニーズに寄り添う解決策を機敏に探ります。さらにスタートアップとの共創やダイバーシティの推進によって新しい発想を積極的に取り込み、希少疾患・難病に果敢に挑みます。私も含め、帝人ファーマを構成する人財すべてが変革のリーダーです。先陣を切って進む情熱とともにチャレンジを続けます。

帝人ファーマ株式会社
代表取締役社長

種田 正樹

ヘルスケアのあらゆるフェーズに グループの総合力を活かします。

1970年代に帝人の高分子化学から生まれたヘルスケア事業。
それから半世紀にわたり培った研究開発力にグループの
「マテリアル」「IT」といった異なる技術力を融合させ、
独自のトータルヘルスケアソリューションを深化させています。
身近な健康づくりから地域医療にいたるまで多様なシーンに貢献できる
充実した製品・サービスが特長です。

帝人グループの トータルヘルスケア ソリューション

帝人のヘルスケア事業は既存製品の後追いをせず、グループの強みを活かして
オリジナルの医療選択肢を開拓してきました。治療フェーズにおける「骨・関節」
「呼吸器」「代謝・循環器」領域を中心に発展を続け、「リハビリ・脳神経」領域にも
ラインナップを拡充。さらに機能性食品素材などによる予防／健康増進や最先端の
情報共有システムによる健康管理支援・リハビリ／介護までシームレスなヘルス
ケアを展開しています。

その中で帝人ファーマは、営業スタッフや在宅ケア職、社内のメディカルスタッフら
が手を携え、医療現場の最前線に立つさまざまな医療職とコラボレート。患者さん
中心のチーム医療をチーム営業で支援します。また医薬品と医療機器の専門性を
あわせもつ強みを最大限活かし、両者の技術融合を進めて革新的な自社製品の
創出をめざします。

急性期のみならず、今後ますます重視される地域での回復期ケア、長期ケアにも
力を尽くします。再生医療等製品といった新規事業も新たなステージを迎えており、
画期的な医療ソリューションをお届けします。



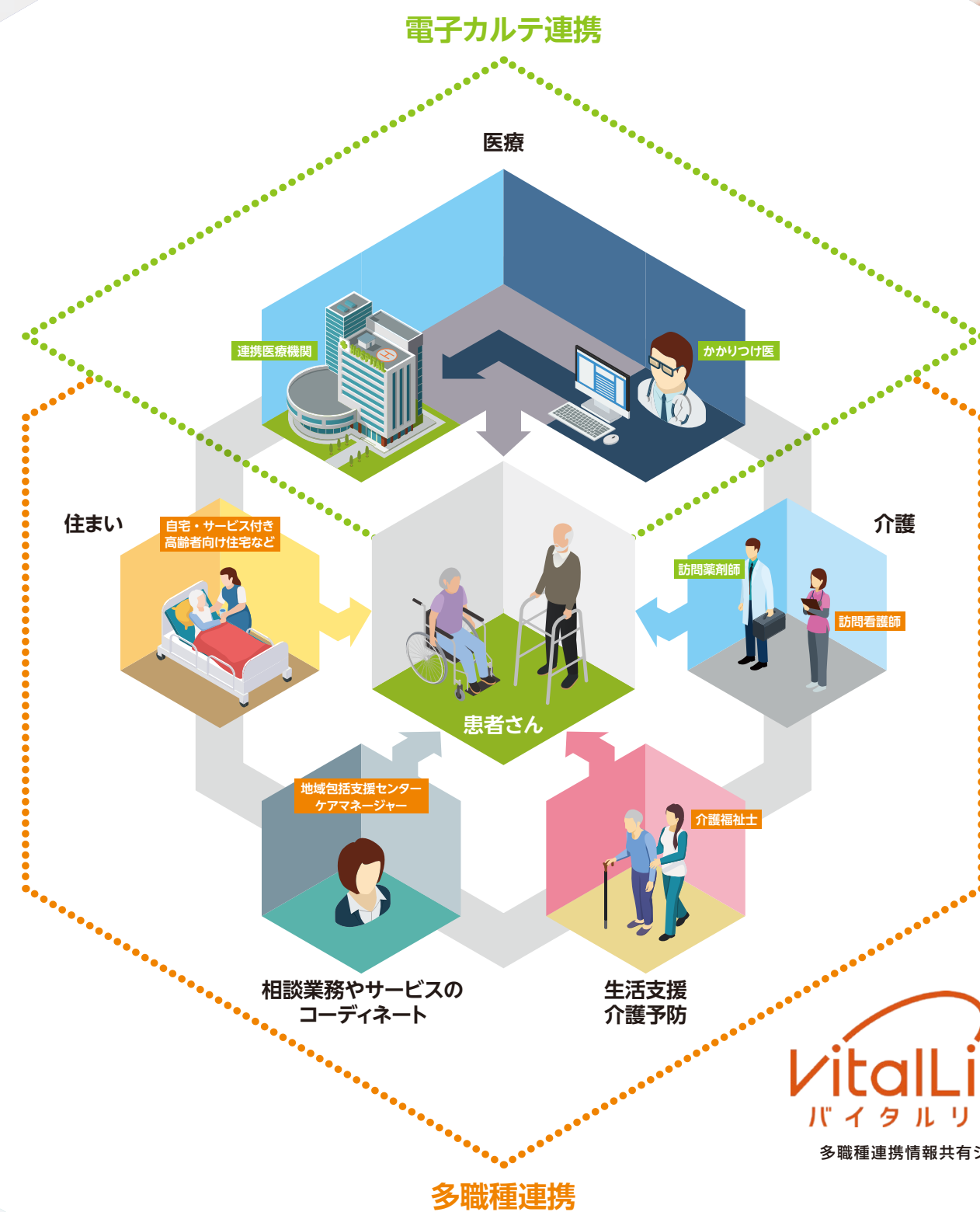
「地域包括ケア」を支える 情報共有システムと チーム営業。

ICTが多職種連携をスムーズに。

地域完結型医療の要となるのが地域包括ケアです。医療とともに安定した住まい、生活支援、介護などが提供され、住み慣れた場所で人生を全うできるよう地域が一体となって支えます。その実現にはかかりつけ医をはじめ訪問看護師、薬剤師、介護福祉士ら幅広い職種による情報共有と有機的な連携が不可欠です。この地域ネットワークを多職種連携情報共有システム「バイタルリンク®」でサポートしています。患者さん一人ひとりのバイタルデータなどを、パソコン、モバイル端末を利用して多職種間でリアルタイムに共有するしくみです。タイムライン形式の連絡帳機能もあり、ケア情報を双方向で確認できます。これにより症状の悪化などを早期に把握でき、充実したケアを促進しています。

安心と信頼のチーム営業。

地域医療を支えるのは製品やICTにとどまりません。帝人ファーマは在宅医療の患者さん・関係者をフォローするため医療機器に精通した在宅ケア職のほか、自社でも看護師や臨床検査技師、作業療法士、理学療法士を擁しています。ここに医薬品と在宅医療の知識と経験を兼ね備えた営業スタッフが加わり、強固なチーム営業によって医療現場を手厚くサポートしています。営業拠点も看護ステーションを含め全国に約100か所展開。地域に密着し、各エリアの特性に応じたご提案が可能です。帝人ファーマは地域包括ケアのパートナーとして、ともに患者さんを見守ります。



VitalLink
バイタルリンク®
多職種連携情報共有システム

重点領域

骨・関節



約40年の実績が 光る得意分野

骨粗鬆症に対する認知度が低かった1980年代にいち早く対策を始めました。まず診断方法から独自に開発。続いて骨量の増加を促す活性型ビタミンD₃製剤「ワンアルファ®」、骨の破壊を防ぐ骨粗鬆症治療剤「ボナロン®」を展開し、剤形も増やしました。変形性関節症における経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア®テープ」、超音波骨折治療器「セーフス®」などとともに当領域のラインナップを強化しています。



「ロコア®」/「LOQQA®」は大正製薬株式会社の登録商標です。
「ボナロン®」/「Bonalon®」はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。

帝人グループ全体で 取り組む骨・関節領域

疾患やケガの治療に役立つ医薬品・医療機器から、骨・関節の代替となって運動機能の回復を促す埋め込み型医療機器まで、帝人グループのマテリアル技術を融合させた先進的かつ包括的なヘルスケア事業を推進中です。2015年に人工関節・脊椎固定システムの会社を、2017年には生体内分解吸収性骨接合材の会社を設立し、整形外科をはじめとする多くの医療現場に貢献しています。



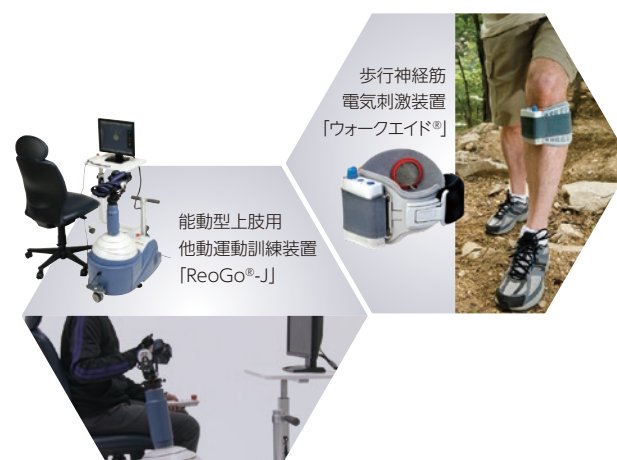
重点領域

リハビリ・脳神経



QOL向上をめざし 骨・関節領域から発展

運動機能の維持は生活の質(QOL)に欠かせません。骨・関節領域に取り組む中で、機能回復訓練や脳・神経系の課題にもアプローチの必要性を痛感して生まれたのがこの領域です。脳卒中などによる後遺障害改善のための機能補助やリハビリテーションを、歩行神経筋電気刺激装置「ウォークエイド®」、能動型上肢用他動運動訓練装置「ReoGo®-J」でサポートしています。



ReoGo®はモトリカ・リミテッドの登録商標です。

発症～予後までの 包括的なソリューションへ

後遺障害の前にも手を打てないか。そんな想いから脳血管疾患に関わる新薬を開発中です。急性期の脳梗塞を対象に、ヒト歯髄由来幹細胞を用いた再生医療等製品の臨床試験がスタートしました。またドイツのメルツ社とA型ボツリヌス毒素製剤の日本における共同開発・独占販売契約を結び、脳卒中などに起因する痙攣に挑みます。

うつ病の新たな 治療選択肢も

寄与するフィールドは精神疾患にもおよびます。アメリカから導入したうつ病の経頭蓋治療用磁気刺激装置「ニューロスター®」が保険適用となり、2019年に発売。年々増加している成人の患者さんの中でも、既存の抗うつ剤治療では十分な効果が認められない方へ新たな選択肢を提供するものです。

経頭蓋治療用磁気刺激装置「ニューロスター®」



重点領域 呼吸器



在宅酸素療法 (HOT) の パイオニア

日本初の膜型酸素濃縮装置を誕生させたのが帝人です。入院しなかった慢性呼吸不全の治療に、患者さんが自宅で行うことができる「在宅酸素療法 (HOT)」という新たな道づくりをお手伝いしました。あわせて保険適用の働きかけや、医療機関が利用しやすいレンタル方式の導入など、普及に向けた努力を重ねました。

国内トップレベルの シェア※

帝人ファーマの在宅医療はHOTを皮切りに、マスク式人工呼吸器を利用するNPPV療法、睡眠時無呼吸症候群のCPAP療法にも広がっています。小型で静か、使いやすい装置は多くの医療者・患者さんにご支持いただき、HOTの「ハイサンゾ®」、CPAP療法の「スリープメイト®」シリーズは国内トップレベルのシェアを誇っています。

※外部報告書および当社レンタル台数から推定

HOT: Home Oxygen Therapy NPPV療法: Non invasive Positive Pressure Ventilation (非侵襲的陽圧換気) 療法 CPAP療法: Continuous Positive Airway Pressure (持続陽圧呼吸) 療法



汎用人工呼吸器
(二相式気道陽圧ユニット)
「NIPネーガル®V」



酸素濃縮装置
「ハイサンゾ®i」



自動圧調整CPAP装置
「スリープメイト®10」

重点領域 代謝・循環器



世界に広がる自社開発の 高尿酸血症・痛風治療剤

痛風や腎障害につながる高尿酸血症。近年、生活習慣病の引き金にもなると注目されています。帝人ファーマはその治療薬となる「フェブリク®」を自社で開発しました。先見性や独創性が認められ、日本薬学会の「創薬科学賞」など数々の賞を授与されました。欧米やアジアなど117の国や地域に導出されています*。

*2020年3月現在



高尿酸血症・痛風治療剤
「フェブリク®」

ペプチド医薬品で アンメット・ニーズに挑戦

厚生労働省が指定する難病の治療にも果敢に挑んでいます。ペプチド医薬の技術を応用した、先端巨大症・下垂体性巨人症の注射剤「ソマチュリン®」をフランス・イプセン社から導入。さまざまな症状に悩む患者さんの医療ニーズにおこたえしました。2017年には膵・消化管神経内分泌腫瘍にも適応が認められ、稀少ながんへの対抗策に数えられています。



持続性ソマトスタチン
アナログ徐放性製剤
「ソマチュリン®皮下注」

「ソマチュリン®」/Somatuline®はIpsen Pharmaの登録商標です。

帝人ファーマの歴史

QOL向上のため多様なチャレンジを続けてきた帝人ファーマ。治療法が未確立の症状や社会的認知度の低い疾患にも果敢に立ち向かい、患者さんの負担軽減にも努めてきました。そこには創業当時から受け継がれる帝人の「変革と挑戦」のDNAが息づいています。

1971

帝人株式会社で酸素富化膜装置の研究を開始

高分子技術の応用

帝人の高分子研究所が1950年代から取り組んでいた薄膜※の実用化プロジェクトが端緒となりました。海水の淡水化にヒントを得て、透過した空気の酸素濃度が約2倍になる酸素富化膜を開発。「気体分離法」の製造特許を確立しました。大胆な発想と技術力が結びつき、のちに日本初となる膜型酸素濃縮装置を生み出すのです。

※ミクロン単位の非常に薄い膜

1968

帝人株式会社の未来事業部門において探索を開始

ゼロからの出発

日本で初めてレーヨンの商業生産を開始した帝人が創業50年を迎え、ナイロンやポリエステルなどの合成繊維事業で躍進していた時代です。さらなるグローバル化と多角化をめざす未来事業部門が発足。開発テーマに「医薬」が加わりました。ヘルスケア事業は社内ベンチャーとして始まった、ゼロからのチャレンジでした。

1981
活性型ビタミンD₃製剤
「ワンアルファ®」発売



1978

医薬岩国製造所
設立

1982

在宅酸素療法(HOT)事業開始
国産第一号の膜型酸素濃縮装置
「マイルドサンソ®」発売



第三の医療を開拓

在宅医療という新たな選択肢を築いたHOT。帝人は一貫して機器に責任を持つ「直販体制」をとりました。なにかあれば担当者が24時間365日患者さんのもとに駆けつけます。創設期、代理店に任せず自ら汗をかく専任スタッフは「7人の侍」と呼ばれたそうです。現在も続くスタイルが患者さんの安心と信頼につながっています。



2000

睡眠時無呼吸症候群(SAS)領域の事業化
自動圧調整CPAP装置「スリープメイト®」導入
SAS: Sleep Apnea Syndrome



1998

超音波骨折治療器
「セーフス®」発売



1986

吸着型酸素濃縮装置
「ハイサンソ®」発売

1985

HOT健康保険適用



デジタルヘルスケアへ参入

HOTにおける酸素濃縮装置モニタリングやCPAP療法のデータマネジメントなどの実績がある「ヘルスケア+ICT」の融合。そのノウハウをさらに発展させ、これからの地域包括ケアに欠かせない多職種連携に支援の手を広げました。ケアサイクル全体に貢献できるトータルヘルスケア企業へ。変革と挑戦は続きます。

2015

多職種連携情報共有システム
「バイタルリンク®」発売
融合製剤棟が稼働開始



研究者の情熱から生まれた新薬

痛風や高尿酸血症の治療選択肢が限られていた1980年代。競合が少ない点に将来性を感じた、たった一人の研究者によって新薬の開発が始まりました。許された期間は2年のみ。しかしテーマに賛同した協力者が集まり、ついに尿酸生成を抑制する化合物を見出します。この不屈の取り組みが帝人ファーマの代謝・循環器領域の礎となりました。

2011

高尿酸血症・痛風治療剤
「フェブリク®」発売



2019

経頭蓋治療用磁気刺激装置
「ニューロスター®」発売

2001

骨粗鬆症治療剤
「ボナロン®」発売



2003

帝人ファーマ株式会社として業務開始

2016

能動型上肢用他動運動訓練装置
「ReoGo®-J」発売



2013

先端巨大症および下垂体性巨人症治療剤「ソマチュリン®」発売
歩行神経筋電気刺激装置「ウォークエイド®」発売



会社概要

社名	帝人ファーマ株式会社
英文社名	Teijin Pharma Limited
設立日	2002年4月15日
資本金	100億
事業概要	医薬品・医療機器の 研究開発、製造、販売

本社

〒100-8585
東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート西館

創薬化学研究所／創薬探索研究所／医療技術研究所

〒191-8512
東京都日野市旭が丘4-3-2
TEL: 042-581-4321

医薬岩国製造所／医療岩国製造所

〒740-8511
山口県岩国市日の出町2-1
TEL: 0827-24-6530(医薬)
TEL: 0827-24-6523(医療)

在宅医療技術サービスセンター

〒503-0123
岐阜県安八郡安八町南條1357
TEL: 0584-64-5151

海外拠点

Teijin America, Inc.(アメリカ)

600 Lexington Avenue, 27th Floor,
New York 10022, USA
TEL: +1-212-308-8744

Yuyu Teijin Medicare Inc.(韓国)

Jongha building, 4th floor 27, Dongho-ro 15-gil,
Jung-gu, Seoul 04598, Korea
TEL: +82-2-2254-0285

London Office for Healthcare Business Group(イギリス)

3rd floor, 111 Buckingham Palace Road,
London SW1W 0SR, UK
TEL: +44-20-7340-8670

Esteve Teijin Healthcare S.L.(スペイン)

Avda. Diagonal, 579, 8a planta, 08014
Barcelona, Spain
TEL: +34-93-887-5710

コーポレートサイト

<https://www.teijin-pharma.co.jp/>



医薬品に関するお問い合わせ

メディカル情報グループ
TEL: 0120-189-315(フリーダイヤル)
対応時間: 平日(当社休業日をのぞく)9時00分～17時00分

在宅医療機器全般に関するお問い合わせ

帝人ヘルスケア株式会社
TEL: 03-3506-4488(代表)
対応時間: 平日(当社休業日をのぞく)9時00分～17時00分

プロジェクトストーリー

<https://www.teijin-pharma.co.jp/project/>



地域包括ケア関連サービスに関するお問い合わせ

地域包括ケア事業推進部
TEL: 03-3506-4796
対応時間: 平日(当社休業日をのぞく)9時00分～17時00分

医薬品・在宅医療機器以外のお問い合わせ

人事総務部
TEL: 03-3506-4077
対応時間: 平日(当社休業日をのぞく)9時00分～17時00分